



地域研究集会

第16回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える 砕石覆砂によるアサリ漁場造成

- 日時：2021年11月27日（土）13:00～17:00（受付12:30～）
場所：ZoomによるWeb会議（発信：三重県水産研究所鈴鹿水産研究室）
コンビーナー：羽生和弘・舘洋（三重県水産研究所）・日比野学・曾根亮太（愛知県水産試験場）
共催：愛知県水産試験場，三重県水産研究所
後援：愛知県漁業協同組合連合会，三重県漁業協同組合連合会
総合司会：羽生和弘（三重県水産研究所）
開会挨拶：木村伸吾（水産海洋学会 会長） 13:00～13:05
趣旨説明：羽生和弘（三重県水産研究所） 13:05～13:15
- 【基調講演】 座長：曾根亮太（愛知県水産試験場）
砕石覆砂によるアサリ漁場造成 13:15～13:55
桑原久実（水産研究・教育機構水産技術研究所）
- 【テーマ1】砕石覆砂の施工
1. 施工のフロー 13:55～14:20
井上誠章（水産研究・教育機構水産技術研究所）
 2. 工法と費用 14:20～14:40
中林孝之（東京久栄）
 3. 適地選定 14:40～15:00
羽生和弘（三重県水産研究所）
- 休 憩 15:00～15:15
- 【テーマ2】現地検討事例 座長：舘洋（三重県水産研究所）
4. 東京湾（着底促進，今年の状況） 15:15～15:40
林俊裕（千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所）
 5. 三河湾（餌不足下での効果，今年の状況） 15:40～16:05
日比野学（愛知県水産試験場）
 6. 伊勢湾（成功までの軌跡，今年の状況） 16:05～16:30
中西健五（三重県津農林水産事務所）
- 【総合討論】大規模展開の可能性と課題 座長：羽生和弘（三重県水産研究所）
16:30～17:00

閉会挨拶：藤田弘一（三重県水産研究所）

開催趣旨：アサリの資源量・漁獲量の低迷が全国的に大きな問題となっており，当海域では，ダム堆積砂や河川・航路等の浚渫土砂を利用した干潟・浅場や増殖場の造成などが展開されてきた。さらに近年では砕石を用いた覆砂による漁場造成の研究が進み，漁獲サイズまで生残・成長する事例が確認されるようになってきた。様々な環境問題の影響がある中で砕石覆砂によってなぜアサリが増えるのか。砕石覆砂の事業展開を検討するにあたり，その理解は重要と考えられる。2021年3月に水産庁から公表された「砕石を利用したアサリ漁場造成の手引き」は，伊勢・三河湾や東京湾での研究成果を取りまとめたものであり，砕石覆砂の大規模展開によるアサリ漁業の復活に期待を抱かせる内容となっている。本シンポジウムでは，手引き執筆者から砕石覆砂の有効性と最新の知見を紹介いただき，大規模展開の可能性と今後の課題について議論を深め，伊勢・三河湾におけるアサリ漁場の造成について展望したい。